



2 再 評 価 の 視 点	(2) 事業の投資効果	費用対効果等 分析	(単位：千円)																																											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>事業採択時 (基準年：H30)</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">便益 (B)</td> <td>①作物生産効果</td> <td>262,007</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②営農経費節減効果</td> <td>1,561,718</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③維持管理費節減効果</td> <td>-43,585</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の効果</td> <td>89,217</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>1,869,357</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>①当該事業費</td> <td>597,698</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他(関連事業費+資産価額+再整備費)</td> <td>621,775</td> <td>工事期間+40年</td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>1,219,473</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比(B/C)</td> <td>1.53</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 費用(B)・便益(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>○総費用総便益比方式 ○土地改良事業の費用対効果分析マニュアル(平成30年2月：農林水産省農村振興局整備部)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な効果項目</th> <th>効果の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作物生産効果</td> <td>農用地や水条件の改良等に伴う作物生産の量的増減を捉える効果。</td> </tr> <tr> <td>営農経費節減効果</td> <td>ほ場条件の改善に伴い機械の利用効率が高まること等により経費が増減する効果。</td> </tr> <tr> <td>維持管理費節減効果</td> <td>事業を実施した場合としない場合における維持管理費の増減を比較した効果。</td> </tr> </tbody> </table>	区分	主な項目	事業採択時 (基準年：H30)	備 考	全体事業	便益 (B)	①作物生産効果	262,007		②営農経費節減効果	1,561,718		③維持管理費節減効果	-43,585		④その他の効果	89,217		総便益	1,869,357		費用 (C)	①当該事業費	597,698		②維持管理費	-		③その他(関連事業費+資産価額+再整備費)	621,775	工事期間+40年	総費用	1,219,473		費用便益比(B/C)		1.53		主な効果項目	効果の内容	作物生産効果	農用地や水条件の改良等に伴う作物生産の量的増減を捉える効果。	営農経費節減効果
区分	主な項目	事業採択時 (基準年：H30)	備 考																																											
		全体事業																																												
便益 (B)	①作物生産効果	262,007																																												
	②営農経費節減効果	1,561,718																																												
	③維持管理費節減効果	-43,585																																												
	④その他の効果	89,217																																												
	総便益	1,869,357																																												
費用 (C)	①当該事業費	597,698																																												
	②維持管理費	-																																												
	③その他(関連事業費+資産価額+再整備費)	621,775	工事期間+40年																																											
	総費用	1,219,473																																												
費用便益比(B/C)		1.53																																												
主な効果項目	効果の内容																																													
作物生産効果	農用地や水条件の改良等に伴う作物生産の量的増減を捉える効果。																																													
営農経費節減効果	ほ場条件の改善に伴い機械の利用効率が高まること等により経費が増減する効果。																																													
維持管理費節減効果	事業を実施した場合としない場合における維持管理費の増減を比較した効果。																																													
3 環 境	(3) コスト縮減・代替案等の可能性	コスト縮減	埋蔵文化財発掘調査については、区画整理の整地工計画を検討する際、基盤切盛計画により切土面積を必要最小限とし、発掘調査範囲の縮減に努めた計画としている。																																											
		代替案	生産基盤の整備及びその他支援事業を行うことにより経営体を育成し、地域農業の振興を図る事業は本事業のみである。																																											
		配慮事項	<p>【環境に与える影響等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水路整備に伴い、小動物や水生生物等の移動経路が分断される。</li> <li>○区画整理により、現況の畦畔等に繁茂する在来種が減少する。</li> <li>○工事の際の濁水流出により、下流河川の水生生物の生息環境が悪化する。</li> </ul> <p>【環境への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水路整備にあたっては、簡易スロープ等を要所に設置し、小動物等の移動経路を確保する。</li> <li>○畦畔に現況土を利用することにより、在来種の早期回復を図る。</li> <li>○工事施工中は土砂の流出防止柵や沈砂池を設け、濁水が河川へ直接流出することを抑制する。</li> </ul>																																											

【用語説明】

※1 高収益作物：主食用米よりも収益性の高い野菜等の作物のことをいう。